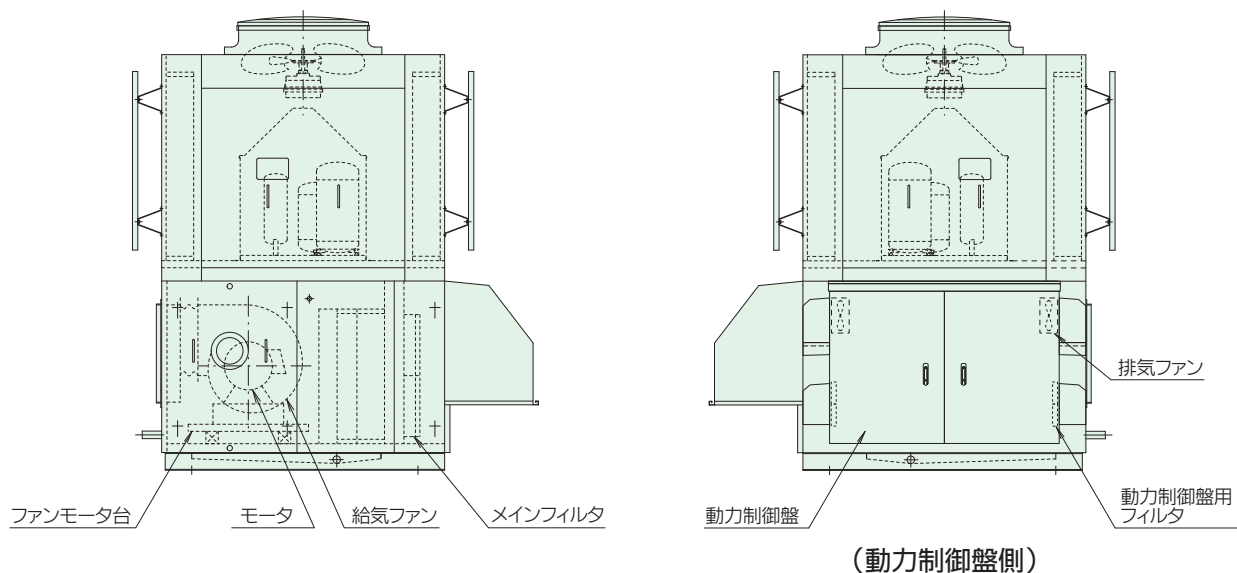


耐塩害仕様／耐重塩害仕様

■仕様表

ご希望により、耐塩害仕様／耐重塩害仕様の対応が可能です。



材料名称		メーカー標準仕様		耐塩害仕様		耐重塩害仕様	
		主材料	塗装仕様	主材料	塗装仕様	主材料	塗装仕様
フレーム	枠	溶融亜鉛メッキ鋼板	—	溶融亜鉛メッキ鋼板	エポキシ樹脂塗装(2回)	溶融亜鉛メッキ鋼板	エポキシ樹脂塗装(3回)
	ドレンパン	高クロムステンレス鋼板	—	高クロムステンレス鋼板	—	高クロムステンレス鋼板	—
給気ファン	ランナー	溶融亜鉛メッキ鋼板	—	溶融亜鉛メッキ鋼板	変形エポキシ焼付塗装(2回)	溶融亜鉛メッキ鋼板	変形エポキシ焼付塗装(2回)
	ケーシング	〃	—	〃	〃	〃	〃
給気側モータ		全閉外扇形	メーカー標準塗装	全閉外扇形	防食3種	全閉外扇形	防食3種
ファンモータ台		溶融亜鉛メッキ鋼板	—	電気亜鉛メッキ鋼板	エポキシ樹脂塗装(2回)	電気亜鉛メッキ鋼板	エポキシ樹脂塗装(2回)
メインフィルタ	ろ材	中性能フィルタ	—	除塩フィルタ	—	除塩フィルタ	—
動力制御盤	筐体	溶融亜鉛メッキ鋼板	エポキシプライマー溶剤 + アクリル系塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板	エポキシプライマー溶剤 + アクリル系塗装	溶融亜鉛メッキ鋼板	エポキシプライマー溶剤 + アクリル系塗装 (膜厚増)
	フィルタ	PS/300	—	除塩フィルタ	—	除塩フィルタ	—
ボルト・ナット類	外装板	クロメート処理品	—	SUS-304	—	SUS-304	—
	内装品	SUS-304クロメート処理品	—	〃	—	〃	—

※ 詳細は納入仕様書にて、ご確認ください。

■適用

- 耐塩害仕様／耐重塩害仕様はJRA 9002：空調機器の耐塩害試験基準に準拠しています。JRA 9002では、主として防食および装飾の目的で塗装する部品の塗膜の試験方法について規定し、設置場所によって下記の様な適用を目安としています。

■耐塩害仕様・耐重塩害仕様 選択の目安

耐塩害仕様：潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所で具体的には

1. 機器が雨で洗われる場所
2. 潮風の当たらないところ
3. 機器の設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内
4. 機器が建物の影になる場所

耐重塩害仕様：潮風の影響を受ける場所で具体的には

1. 機器に雨があまりかからない場所
2. 潮風が直接当たるところ
3. 機器の設置場所から海までの距離が約300m以内
4. 機器が建物の表(海岸面)になる場所
5. 機器設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所

■海岸からの設置距離目安（設置環境により条件が変わります）

直接潮風が当たらないところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
① 内海に面する地域	耐塩害	—	—	瀬戸内海
② 外洋に面する地域	耐重塩害	耐塩害	耐塩害	
③ 沖縄、離島	耐重塩害	耐重塩害	耐塩害	

直接潮風が当たるところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
① 内海に面する地域	耐重塩害	耐塩害	—	瀬戸内海
② 外洋に面する地域	耐重塩害	耐重塩害	耐塩害	
③ 沖縄、離島	耐重塩害	耐重塩害	耐重塩害	

■注意事項

- 耐塩害仕様／耐重塩害仕様の場合でも腐食・発錆に対して万全ではありません。
- 製品を長く安心してお使いいただくため、海水飛沫および潮風に直接さらされる場所への設置は避けてください。やむを得ず設置する場合でも防風板等を設け、潮風が直接当たらないようにしてください。
- 水捌けの良い場所に設置してください。
- 機内の水の滞留は著しく腐食作用を促進させるため、排水性を損なわないよう水平に設置してください。
- 設置時やメンテナンス時に付いた傷は必ず補修してください。
- 特に海岸地帯に設置している機器については付着した塩分等を除去するため、外装部の水洗いを行ってください。
- 必ず定期的なメンテナンスを十分に行ってください。
- 動力制御盤の冷却用空気取入口には潮風の影響を受ける場所に備えて除塩対応フィルタを取付けています。目詰まりにより換気風量が低下しますと、温度上昇による異常出力を発報するほか、インバータや電気・電子部品の寿命低下に繋がります。取扱説明書に沿って、必ず定期的な交換を行ってください。